

忠岡町立小中学校・幼稚園施設の耐震診断結果一覧表

対象：昭和56年以前の旧耐震基準によって建てられた、2階建て以上又は面積200㎡以上の非木造建物

学校名	棟名		構造	階数	竣工年度	延べ面積	診断	構造耐震指標	備考
忠岡小学校	旧館	6	R造	2	S38	966	一次	0.43	
	本館西側	19-2	R造	3	S54	1,112	二次	0.58	
	本館南側	17	R造	3	S54	1,621	二次	0.55	
	体育館	13	R造	2	S52	1,265	二次	0.70	H9年度補強済み
東忠岡小学校	第一鉄筋	6	R造	3	S41・45	1,193	二次	0.39	
	第二鉄筋	10	R造	3	S46・47・49	1,211	二次	0.48	
	第三鉄筋	11・17	R造	3	S51	1,705	二次	0.36	
	本館	16	R造	3	S56	1,543	二次	0.70	
	体育館	18	R造	2	S60	1,063			新耐震基準で建築
忠岡中学校	北館	1	R造	2	S35・36・37	1,481	一次	0.41	
	本館東側	8	R造	2	S30・40	762	二次	0.72	
	本館西側	13	R造	3	S49	1,684	二次	0.74	H14年度補強済み
	新館	16	R造	4	S55	1,566	二次	0.72	H14年度補強済み
	体育館	11	R造	2	S46	1,439	二次	0.66	
忠岡幼稚園	本館	1	R造	2	S52	1,367			診断未実施
東忠岡幼稚園	本館	5	R造	2	S52	1,253			診断未実施

構造耐震指標（ I_s 値）・・・建物が保有する耐力（強度）を表わす指標

一般的には、一次診断では0.8以上で、二次診断では0.6以上が必要とされていますが、文部科学省は一次診断では0.9以上で、二次診断では0.7以上が必要としています。

Is 値に係る安全指標

大規模な地震に対して倒壊または崩壊する危険性が高い。	$I_s < 0.3$
大規模な地震に対して倒壊または崩壊する危険性がある。	$0.3 \leq I_s < 0.6$
大規模な地震に対して倒壊または崩壊する危険性が低い。	$I_s \geq 0.6$

Is 値 建物の粘り強さに形状や経年等を考慮して算出される指標
大規模な地震とは、震度6強から震度7程度の地震を想定しています。